

令和6年度 事業報告

I 公益目的事業会計

1 農業支援事業

農作業の省力化、生産性の向上、優良農地の確保等を図るため、地域の実情に応じた農作業の支援を行う。

(1) 機械作業事業

①機械作業委託事業

【内 容】 地域の実情に応じ、農作業を受託組合や機械を所有するオペレーターへ仲介・あっ旋し農家の支援を行う。

【事業量】

令和6年度 受託者54者（受託組織13・個人41）、利用農家1,998戸

（令和5年度 受託者72者（受託組織14・個人58）、利用農家2,159戸）

		令和5年度		令和6年度				
内 訳		計画	実績	計画	実績	計画との比較	(実施率)	前年比
春	田 植 え	80 ha	66.8 ha	70 ha	54.2 ha	△ 15.8 ha	77%	81%
	代 掻 き	73 ha	71.0 ha	73 ha	66.9 ha	△ 6.1 ha	92%	94%
	耕 起	60 ha	57.1 ha	60 ha	49.3 ha	△ 10.7 ha	82%	86%
	防 除	35 ha	25.2 ha	30 ha	21.8 ha	△ 8.2 ha	73%	87%
	小 計	248 ha	220.1 ha	233 ha	192.2 ha	△ 40.8 ha	82%	87%
	水 稻 苗	10,000 枚	11,171 枚	10,000 枚	10,359 枚	359 枚	104%	93%
秋	耕 起	20 ha	23.4 ha	20 ha	21.3 ha	1.3 ha	107%	91%
	米 収 穫	116 ha	108.2 ha	109 ha	94.8 ha	△ 14.2 ha	87%	88%
	そ ば 収 穫	1 ha	1.3 ha	1 ha	1.4 ha	0.4 ha	140%	108%
	小 計	137 ha	132.9 ha	130 ha	117.5 ha	△ 12.5 ha	90%	88%
	粃 運 搬	550 t	447.0 t	500 t	437.2 t	△ 62.8 t	87%	98%
合 計		385 ha	353.0 ha	363 ha	309.7 ha	△ 53.3 ha	85%	88%
		10,000 枚	11,171 枚	10,000 枚	10,359 枚	359 枚	104%	93%
		550 t	447.0 t	500 t	437.2 t	△ 63 t	87%	98%

考 察	・農家の高齢化や後継者不足により、不耕作地が増加している。 ・機械作業の作業面積、受託者及び利用農家についても、前年度より減少傾向の実績となっている。 ・JA等と協力して事業について周知し、機械作業ができないことによる不耕作地の発生を抑制していく。
-----	--

(2) 農作業お手伝いさん事業

【内 容】 農作業お手伝いさんにより繁忙期の果樹作業等の支援を行う。

【事業量】

令和6年度 お手伝いさん158名、利用農家 343戸
(令和5年度 お手伝いさん 191名、利用農家 297戸)

		令和5年度		令和6年度				
内 訳		計画	実績	計画	実績	計画との比較	(実施率)	前年比
春	りんご	41,000 時間	37,655 時間	41,000 時間	36,505 時間	△ 4,495 時間	89%	97%
	ぶどう	15,000 時間	10,645 時間	15,000 時間	10,205 時間	△ 4,795 時間	68%	96%
	もも	8,000 時間	6,426 時間	8,000 時間	6,855 時間	△ 1,145 時間	86%	107%
	なし	1,000 時間	1,003 時間	1,000 時間	1,036 時間	36 時間	104%	103%
	その他	3,000 時間	1,744 時間	3,000 時間	2,089 時間	△ 911 時間	70%	120%
	小計	68,000 時間	57,472 時間	68,000 時間	56,690 時間	△ 11,310 時間	83%	99%
秋	りんご	28,000 時間	26,151 時間	28,000 時間	26,437 時間	△ 1,563 時間	94%	101%
	ぶどう	150 時間	473 時間	150 時間	844 時間	694 時間	562%	178%
	なし	100 時間	99 時間	100 時間	0 時間	△ 100 時間	0%	0%
	その他	1,750 時間	662 時間	1,750 時間	1,329 時間	△ 421 時間	76%	201%
	小計	30,000 時間	27,385 時間	30,000 時間	28,610 時間	△ 1,391 時間	95%	104%
合 計		98,000 時間	84,857 時間	98,000 時間	85,300 時間	△ 12,701 時間	87%	101%

考 察	・栽培農家の高齢化等により、お手伝いさん事業への依頼は増加傾向にあるが、お手伝いさん事業従事者の高齢化に伴う離職や、お手伝いさん自身の身体能力の低下により作業依頼に十分に応えられない状況にある。 ・お手伝いさんを確保するため、情報媒体を利用した求人に加え、新たな媒体(ハローワーク、シニヤ向け就職相談会及び、市内の大学での求人)にも積極的に取り組んだが新規任用者は、3名であった。 ・既に需要と供給のバランスが崩れかけており、今後の人手不足や賃金値上げなどを踏まえると、人員確保はさらに難しくなることから、利用農家説明会を開催し、人員確保の選択肢として下記①～③を推奨し積極的な利用を呼びかけている。 ①農業1日バイトアプリ「daywork」の活用 ②農福連携による障がい者派遣 ③農地中間管理事業による担い手への農地貸出等 ・企業等の副業を活用したお手伝いさんの確保について検討していく。
-----	--

農作業員(お手伝いさん)講習会

【内 容】農作業お手伝いさんの作業内容についての理解促進や技術向上を図るとともに、事故防止、安全管理を徹底するための講習会を開催する。

【事業量】

令和5年度			令和6年度		
	計画	実績		計画	実績
回数	15 回	18 回	回数	15 回	18 回
人数		444 人	人数		372 人
前年比(人数)		148%	前年比(人数)		84%

令和5年度			令和6年度			
月 日	場 所	参加者	月 日	場 所	参加者	内 容
4月6日(木)	長野平	17 人	4月9日(火)	長野平	8 人	事業説明会
4月7日(金)	川中島	10 人	4月10日(水)	川中島	8 人	〃
4月19日(水)Am	若穂	9 人	4月22日(月)Am	若穂	4 人	新人実技研修(リンゴ花摘)
4月19日～20日	若穂	62 人	4月22日～23日	若穂	55 人	目揃会(リンゴ花摘)
4月25日(火)Am	長沼	11 人	4月25日(木)Am	長沼	7 人	新人実技研修(リンゴ花摘)
4月25日～26日	長沼	94 人	4月25日～26日	長沼	86 人	目揃会(リンゴ花摘)
5月15日(月)Am	真島	9 人	5月16日(木)Am	真島	7 人	新人実技研修(桃摘果)
5月15日(月)Pm	真島	9 人	5月16日(木)Pm	真島	7 人	〃 (リンゴ摘果)
5月18日(木)	赤沼	9 人	5月21日(火)	赤沼	7 人	新人実技研修(桃摘果)
5月23日(火)	篠ノ井	14 人	5月23日(木)	若穂	10 人	〃 (ブドウ房切り)
6月8日(木)	真島	7 人	6月7日(金)	真島	2 人	〃 (桃袋掛け)
6月20日(火)	若穂	6 人	6月20日(木)	若穂	3 人	〃 (ブドウ房摘粒)
8月24日(木)	柳原	96 人	8月26日(月)	柳原	91 人	秋期農作業安全研修会
8月25日(金)	稲里	60 人	8月27日(火)	稲里	50 人	秋期農作業安全研修会
9月7日(木)	赤沼	9	9月6日(金)	赤沼	5 人	新人実技研修(リンゴ葉摘)
9月8日(金)	篠ノ井	5	9月9日(月)	真島	7 人	事業説明会
9月14日(木)	真島	7	9月17日(火)	真島	8 人	新人実技研修(リンゴ葉摘)
9月29日(金)	真島	10	9月29日(金)	真島	7 人	新人実技研修(リンゴ葉摘)
合 計		444 人	合 計		372 人	

考 察

- ・新人実技研修会では、作業に必要な技術習得と共に、脚立の安全な使用方法について講習し、作業従事する前にJA技術員等の指導を受けることで、安定した技術力を提供することができた。
- ・秋期農作業安全研修を開催し、事故の未然防止と高齢労働者の安全と健康確保のためのエイジフレンドリーガイドラインに沿った講演を行った。
- ・農地巡回による農作業安全パトロールを実施し、利用農家及びお手伝いさんへ事故防止に向けた安全管理の徹底を図った結果、重大事故の発生を防止できた。
- ・引き続き、パトロール等の実施により安全管理の徹底を図り、事故防止に努めていく。



葉摘み研修の様子



安全パトロールで啓発活動



安全研修の様子

労働保険（労災）事故

令和5年度			令和6年度		
発生日	発生状況・傷状	性別	発生日	発生状況・傷状	性別
10月14日	三脚から落下した事故	男	7月12日	三脚から落下した事故	男
	左肋骨 骨折			左手のひら 切創	
11月4日	三脚から落下した事故	男	11月9日	三脚から圃場隣接の溝に落下	女
	腰椎圧迫骨折			両上肢打及び臀部の打撲	
11月6日	三脚から落下した事故	女			
	関節捻挫・腰背部打撲				
11月22日	圃場において転倒	男			
	半月板損傷				

(3) 専門作業事業

【内 容】 農家の剪定作業を専門作業員に委託する。

【事業量】

令和6年度 作業員70名、利用農家168戸

(令和5年度 作業員74名、利用農家170戸)

		令和5年度		令和6年度				
内 訳		計画	実績	計画	実績	計画との比較	(実施率)	前年比
春	りんご	50 時間	171 時間	50 時間	72 時間	22 時間	144%	42%
冬	りんご	2,500 時間	2,988 時間	2,500 時間	2,568 時間	68 時間	103%	86%
	ぶどう	300 時間	0 時間	300 時間	0 時間	△ 300 時間	0%	—
	もも	1,000 時間	1,127 時間	1,000 時間	1,083 時間	83 時間	108%	96%
	なし	150 時間	0 時間	150 時間	0 時間	△ 150 時間	0%	—
	小 計	3,950 時間	4,115 時間	3,950 時間	3,651 時間	△ 299 時間	92%	89%
合 計		4,000 時間	4,286 時間	4,000 時間	3,723 時間	△ 277 時間	93%	87%

考 察	・春の作業実績では、前年対比42%となっているが、降雪が少なく順調に作業が進んだことによる、集計期の差異による結果であることが大きな要因である。冬季については、積雪が少なく暖かい日が続き順調に作業が進んだ。 ・栽培農家の高齢化・栽培面積の縮小等により、作業が減少傾向である。 ・引き続き、JA等と協力して作業員や利用農家の確保に努めていく。
-----	---

(4) 農福連携事業

【内 容】 農業分野の労働力不足と福祉分野の就労機会不足など、双方の課題解決に向けて農福連携の取り組みを推進する。農業公社に専任職員を配置し、障害者就労支援施設等と連携しながら農作業お手伝いさんを育成し、農家へ派遣する仕組みをつくる。

【事業量】

①農業者（作業依頼者）や障害者施設（作業請負者）等の開拓

	令和5年度	令和6年度
請負登録施設	22施設	22施設

②農作業技術研修会の企画・実施（果樹・野菜等）

	令和5年度	令和6年度
作業体験会	4回	4回
安全講習会	1回	1回

③農作業の依頼に対するマッチング、派遣

	令和5年度	令和6年度
マッチング	71件	75件

④その他

- ・事業所(福祉施設)の活動視察 12回
- ・市民への広報活動 ニュースレター「農福連携のススメ」の発行、SNSによる活動報告

考 察	・農作業依頼に応じて障がい者を派遣するマッチングについては、実績を伸ばす結果となり、事業開始4年目となり農福連携の浸透が進んでいる状況である。 ・施設自らが営農に取り組むように促すことで、市が振興しているヘーゼルナッツ栽培につながりつつある(2施設定植済み)。 ・作業を請負う障がい者就労施設の増加はないが今後も声掛けを行うとともに、自ら営農を希望する施設の支援に取り組んでいく。
-----	--



農作業体験の様子



草刈り作業中

(5) 農業法人化事業

- 【内 容】 地域グループの法人化に向けた農業経営の支援を行うとともに、設立及び増資に対する出資や助成を行う。

出資:出資総額又は、資本金の2分の1未満で、500万円を限度（一般農業法人対象）

助成:出資総額又は、資本金の2分の1未満で、250万円を限度（農事組合・農業生産法人対象）

【事業量】

	令和5年度	令和6年度
出資・助成	（出資） 0 法人	（出資） 0 法人

考 察	・既出資事業6件5社のうち、令和4年度に1件1社の事業が終了した。 ・令和6年度に持分譲渡期限を迎えた1社から譲渡の延長申し出がされた。 ・引き続き、法人の設立や増資を希望する者に寄り添った取り組みを進めていく。
-----	--

2 農地対策事業

農地の効率的活用に向け、その集積を促進し貸付けることにより、多様な担い手が安定的かつ継続的な農業経営が行える支援を行う。また、優良農地の保全及び遊休農地の増加防止を図る。

(1) 農地利用集積円滑化事業（円滑）

【内 容】 農地の効率的な利用、その集積を促進するため、市公社が農地所有者から借り入れ、意欲のある農業者に貸付けを行う。令和2年4月1日制度廃止に伴い新規契約停止。

【事業量】

(単位:ha)

	令和4年度	令和5年度			令和6年度		
内 訳	年度末 保有面積	計画	解約及び 移行面積	年度末 保有面積 ①	計画	解約及び 移行面積 ②	年度末 保有面積 ①-②
賃貸借契約 (有償)	13.3	10.0	4.5	8.8	2.8	3.0	5.8
使用貸借契約 (無償)	2.1	1.5	0.7	1.4	0.6	0.5	0.9
合 計	15.4	11.5	5.2	10.2	3.4	3.5	6.7

考 察	- 円滑化事業の制度廃止以後、契約期間満了となるものを中心に農地中間管理事業への移行を進めたため、同事業による保有面積は減少している。 - 引き続き、農地中間管理事業への移行手続きを進めていく。
-----	--

(2) 利用権設定等促進事業（相対）

【内 容】 農用地の利用の集積等により農業者の経営基盤の強化を促進する事業。農地法3条同様に貸主、借主の二者による契約である。市農業政策課が契約関連事務を行っていたが、令和6年度末の制度廃止に伴い令和6年12月末に新規契約停止。

【事業量】

内 訳		対象面積 (ha)	対象筆数 (筆)	対象人数 (人)
相対契約移行対象 (R7.3.31満了分まで)	全体	14.4	171	89
	① 中間対応希望	7.1	79	43
	② 中間契約済	2.3	27	11
	進捗率 (②/①)	32.4%	34.2%	25.6%

考 察	- 令和6年度は、令和7年3月末に期間満了となる契約のみを対象に、貸手・借手双方への意向調査を実施の上、農地中間管理事業への移行作業を行った。 - 双方の希望条件の調整が必要な場合が多く事務量の増加が想定されるが、今後も契約期間満了の時期に合わせ、順次、中間への移行を進めていく。
-----	---

(3) 農地中間管理事業 (中間)

【内 容】 長野県農地中間管理機構が農地を借り受け、担い手へ貸し付けることにより、農業経営規模の拡大、農用地の集団化、農用地利用の効率化を促進する。(長野市内の農地の貸借契約事務については、長野市農業公社が受託している。)

【事業量】

(単位:ha)

	令和4年度末 保有面積	令和5年度				令和6年度			
		計画	契約 面積	解約等	年度末 保有面積 ①	計画	契約 面積 ②	解約等 ③	年度末 保有面積 ①+②-③
賃貸借契約 (有償)	618.6	60.0	53.9	20.2	678.0	50.0	61.3	12.4	758.4
使用貸借契約 (無償)		26.5	25.7			25.0	31.5		
合 計	618.6	86.5	79.6	20.2	678.0	75.0	92.8	12.4	758.4



農業委員会 地区調査会



現場での立会

(令和6年度 契約面積内訳)

▽中間管理事業

合計92.8ha

地区	詳細	* 契約面積
北部地区	豊野・長沼・古里・朝陽・柳原・大豆島・浅川・若槻	23.3ha
東部地区	若穂・松代	33.2ha
中部地区	更北・川中島	9.8ha
西部地区	第1～第5・芹田・古牧・三輪・吉田・安茂里 ・小田切・芋井・七二会・戸隠・鬼無里・中条	12.6ha
南部地区	篠ノ井・信更・大岡・信州新町	13.9ha

*:円滑化事業及び相対事業から中間管理事業へ移行した面積と中間管理事業で新規契約した面積の合計。中間から中間への更新(28ha)は含まない。

考 察	・当初計画を上回る新規契約実績により保有面積は増加している。 ・引き続き、新規契約だけでなく、今後増加することが見込まれる中間から中間への更新、相対から中間への移行も併せて、農用地の利用の効率化の促進を図っていく。
-----	---

(4) 市民農園管理運営事業

【内容】 市民の農業に対する理解促進や、収穫の喜び・健康増進を図るため、土に親しむ場として、農園及び菜園を提供する。

【事業量】

① 市民菜園 総面積 70,351㎡ (令和5年度 73,039㎡)

	令和5年度				令和6年度			
内 訳	開設数	設置区画数	利用区画数	利用率	開設数	設置区画数	利用区画数	利用率
計 画	74	1,027	1,027	100%	72	999	999	100%
年度実績	72	1,004	808	80%	69	977	776	79%
前年比	90%	95%	84%		96%	97%	96%	

② 市民農園 総面積 12,990㎡ (令和4年度 12,990㎡)

	令和5年度			令和6年度		
農園名	設置区画数	利用区画数	利用率	設置区画数	利用区画数	利用率
松代東条	30	30	100%	30	28	93%
篠ノ井小森	27	27	100%	27	27	100%
信更安庭	47	11	23%	47	12	26%
篠ノ井青池	34	25	74%	34	24	71%
合計	138	93	67%	138	91	66%
前年比	100%	116%		100%	98%	

考 察	・市民菜園は、令和6年度に新規1菜園を開設したが、4菜園が廃止になった。 ・市民農園は、中山間地域に設置されている信更安庭・篠ノ井青池が、地理的条件や利用者の高齢化により利用率は低迷する結果となっている。 ・市民菜園・農園とも空き区画について利用していただけるよう、引き続き、PRに努めていく。
-----	---

3 マーケティング開発事業

農畜産物の生産安定・品質向上を図るため、企業と連携した加工や需要に対応した農業生産を促進する。また、ホームページ等により広く公社のPRを行い、会員情報発信により商品の販促及び商談機会の創出を目的にスピーディーな情報提供を行う。また、会員の販売機会の提供を目的に直売市を開催するなど、会員の農業収益向上に寄与することで地域の活性化に寄与する。

(1) 広報宣伝事業

【内 容】 消費者、流通事業者、生産者の情報共有のため各種イベント等へ参加する。公社ホームページを活用し、広く公社事業及び会員のPRを行う。

【事業量】

① 広報宣伝活動、PRイベントへの参加（年度計画：10件参加）

7月20日（土） 信州酒とジビエのサマーバル（軽井沢）参加

9月29日（日） サンライフ長野祭り参加

10月6日（日） 復興応援事業「絆」参加（ビックハット）

10月6日（日） 中部勤労青少年ホーム祭り参加

10月26日（土） 長野市農業フェア参加（ビックハット）

11月13日（水）～19日（火） 長野大物産展参加（名鉄百貨店）

② 「ながのいのち」推進協議会のホームページへの会員情報の開設及び認定商品紹介の追加

③ 「農は人なり」（動画） 毎月2回更新

(2) 「ながのいのち」推進事業

中山間地の活性化を目的に策定した地域ブランド「ながのいのち」の推進を図る。

① 「ながのいのち」会員及び商品紹介による商談の推進

【内 容】 商品の写真、商談シートを「ながのいのち」ホームページに掲載し、県の商談サイト「しあわせ商談サイトNAGANO」に登録推進することで商談機会の創出を行っている。

② 「ながのいのち」推進協議会への支援

【内 容】 地域の特性・個性を生かした地元農産加工品の販路拡大と地産地消、食育のネットワークの拡大を図るため、農村住民グループと消費者等が設立した「ながのいのち」推進協議会と連携して事業推進を行っている。

【事業量】 推進協議会の主な取組み

4月2日（火） 「さといも善光寺」里帰りを進める会総会（種芋配布）

4月10日（水）～5月10日（金） 長野電鉄長野駅売店「ながのいのち」コーナー設置

4月19日（金） 「さといも善光寺」里帰りを進める会植付講習会

4月24日（水） 長野市荏胡麻振興協議会総会

4月26日（金） 「ながのいのち」推進協議会総会

5月14日（火） 長野銀座にぎわい市 開市（トイゴ広場 12月第2週火曜日まで）

7月11日（木） 旬菜市in OYAKIFARM出店者会議

7月27日（土） 旬菜市in OYAKIFARM 開催（前期）

9月5日（木） 旬菜市in OYAKIFARM出店者会議

9月11日（水） さといも善光寺里帰りを進める会役員会

9月21日（土） 旬菜市in OYAKIFARM 開催（後期）

10月11日（金） さといも善光寺里帰りを進める会目揃え会

10月22日（火） にぎわい市感謝祭事前会議

11月5日（火） にぎわい市感謝祭

11月7日（木） 長野市荏胡麻振興協議会役員会

11月9日（土） さといも善光寺大勸進奉納、芋煮会（大勸進）
 11月29日（金） 「ながのいのち」事業検討、反省会
 12月10日（火） 長野銀座にぎわい市 止市
 2月14日（金） さといも善光寺里帰りを進める会役員会
 2月20日（木） 「ながのいのち」推進協議会役員会
 3月14日（金） 「ながのいのち」推進協議会新年度事業計画検討会
 3月21日（金） 長野市荏胡麻振興協議会役員会
 3月19日（月）・24日（月）旬菜市in 長野ターミナル会館

考 察	・会員の収益向上のため、イベントへの参加を積極的に進め、また独自主催の旬菜市として、旬菜市in OYAKIFARMを定番化し、会員はもとより、お客様にも評価を得ている。 ・令和7年度は、更に旬菜市を拡大して開催し、「ながのいのち」ブランドの認知度向上と新たな需要の掘り起こしを進める。
-----	---



(3) 「ながのいのち」商品認定制度

市内で生産された優れた農産物や加工品を、「ながのいのち」ブランド品として認定し、消費者の信頼を高め、生産者の意欲増進を語る。

【内 容】 「ながのいのち」商品認定委員会を開催し、商品認定の審査を実施する。

認定委員 高野 豊 （長野市農業公社アドバイザー）
 横山 タカ子（料理研究家）
 中澤 弥子（県立大学教授 食健康学科長）
 竹内 正彦（JAグループ長野県農工研農業開発研究部 技術専門役）
 青木 尚久（長野市農林部長）

【事業量】

第1回審査会（令和6年9月9日）

審査商品名	結果	認定団体
三升漬	不認定	漬物工房 とうふくじ
かすもみの粕	不認定	
熊笹パウダー	不認定	
切り干し大根	条件付き認定→不認定	

考 察	・今回の審査会においては、認定商品としての条件の理解不足によって不認定という結果が多かった。また、「条件付き認定」は、その改善が3か月以内にできないものは不認定とするとして、新たに審査基準を明確化した結果、条件付き認定商品も不認定となった。 ・今後は、申請期間を早めることにより、審査基準に適合する商品であるか事前に判定を行う。
-----	---

(4) グリーン・ツーリズム推進事業

交流人口の増加による農村の活性化を図るため、都市住民の農作業体験、農家民泊等を促進する。

① 長野市子ども夢学校受入れ協議会への支援

【内 容】 小中学校等の長期宿泊体験活動や学習体験旅行等の受入れを進め、地域活性化を図るために設立した「長野市子ども夢学校受入れ協議会」と連携して事業を推進する。

【事業量】

受入れ組織名	令和5年度		令和6年度	
	受入校数(延)	受入人数	受入校数(延)	受入人数
鬼無里修学旅行受入れ実行委員会	1校	46人	1校	42人
大岡グリーンツーリズム倶楽部	10校	547人	6校	439人
信里食育体験民泊受入れの会	9校	199人	3校	24人
芋井農村民泊受入れの会	7校	211人	11校	638人
信更ふるさと民泊受入れの会	6校	40人	0校	0人
七二会農家民泊の会	9校	63人	3校	17人
信州新町民泊受け入れの会	10校	158人	6校	111人
若穂農家民泊の会	8校	410人	6校	312人
松代農村民泊の会	0校	0人	6校	271人
計	60校	1,674人	42校	1,854人
前年比	2000%	1579%	70%	111%
受入れ校数(実数)	中学校16校、高校2校		中学校13校、高校2校	

会議名	月 日	内 容
総会	4月19日(金)	事業及び決算報告、事業計画及び予算承認
第1回連絡調整会議	6月12日(水)	本年度事業の進め方の検討
第1回ワーキング会議	7月14日(木)	農家民泊資格取得研修会、パンフレット内容検討
第2回ワーキング会議	8月19日(月)	農家民泊組閣取得研修会、パンフレット内容検討
農家民泊資格取得研修会	9月18日(水)	保健所、消防局による手続き研修
第2回連絡調整会議	10月23日(水)	第12回農家民泊意見交換会内容検討
県外市場調査	11月19日～20日	大阪・東京市場調査、誘致(トップツアーズ、阪急交通)
第3回連絡調整会議	12月11日(水)	第10回農家民泊意見交換会内容検討
第12回意見交換会	1月17日(金)	地区代表体験発表及びグループによる意見交換会

考 察	・コロナ問題以降受入数は徐々に増えてはいるが、元の数字には大きな乖離があり、物流ドライバーの働き方改革(24年問題)などの影響があるのか、また今後の体験型修学旅行はどう変わるのかなど、旅行会社への市場調査を行った。修学旅行予算の制約など従来の主力である大阪の学校から、これからは東京近県の学校へと変わっていくことが予想される。 ・受入れ農家が減少傾向にあることから、協議会と連携して、受入れ農家の確保に取り組むとともに、受入れ人数の増加に向けて事務局体制の強化を図る。
-----	--

(5) 特産品開発・加工支援事業

【内 容】 自家農産物や畜産物を利用した地域特産品の開発や加工等を支援し、農産物の生産拡大を図る。

【事業量】

令和5年度		令和6年度		
計画	実績	計画	実績	前年比
2品	3品	2品	3品	150%

【支援商品】

令和5年度		令和6年度	
①小麦ビール	Growty Seeding Bloom	①大豆コロッケ	(有)たんぼぼ
②トマトジュース	長野ベリーファーム(株)	②ワイン	浅川葡萄農園
③松代杏のコンフィチュール	(株) B tree	③煎り酒	道の駅 中条

考 察	・地元の特産物などを原料として使用し、付加価値を付けた加工品開発に対して支援を行い、長野市の特徴ある商品となるよう補助を行った。 ・引き続き、農産物の生産拡大に向けて、商品開発に取り組む会員企業に対して支援を行っていく。
-----	---



令和6年度にぎわい市の様子

Ⅱ 法人会計

1 社員総会・理事会

定款の規定に基づき、社員総会・理事会を開催する。

(1) 総会

【内 容】定款第13条の規定による総会の実施

【回 数】4回

【付議事項】役員の選任・解任、事業計画及び収支予算並びに事業報告及び収支決算の承認等

① 5月1日(水) 臨時社員総会(書面決議)

ア 理事の選任について

② 5月29日(水) 定時社員総会

ア 令和5年度事業報告について

イ 令和5年度収支決算について

③ 8月26日(月) 臨時社員総会(書面決議)

ア 理事の選任について

④ 2月5日(水) 臨時社員総会

ア 令和7年度事業計画(案)について

イ 令和7年度収支予算(案)について

(2) 理事会

【内 容】定款第31条の規定による理事会の実施

【回 数】3回

【付議事項】業務執行の決定、理事の職務の執行の監督等

① 5月29日(水) 第1回理事会

ア 令和5年度事業報告について

イ 令和5年度収支決算について

ウ 賛助会員の承認について

② 12月12日(木) 第2回理事会(書面決議)

ア 令和6年度9月期事業執行状況について

③ 2月5日(水) 第3回理事会

ア 令和7年度事業計画(案)について

イ 令和7年度収支予算(案)について

※報告事項

ア 令和6年度12月期事業執行状況について

2 処務

公社の事務執行に伴う、会計処理、職員の福利厚生、事務処理等を行う。

(1) 職員福利

【職 員】 正規職員 6 人

(長野市派遣 3 人、JAグリーン長野派遣 2 人、JAながの派遣 1 人)

嘱託職員13人、臨時職員 2 人、パート職員158人(お手伝いさん)

派遣職員 1 人

(2) 経理事務

【内 容】 公益法人会計基準に基づく会計処理、事業実施に伴う事務処理等

Ⅲ固定資産

固定資産の取得（新規購入、新築、増築、修理、取替）、売却及び廃棄処分等を行う。

(1) 基本財産

① 定期預金 500万円 (JAグリーン長野/JAながの)

② 有価証券1,425万円

(有)たんぽぽ 425万円/85口、(株)キラリ信更500万円/500株

合同会社裾花ていばん家 250万円/250口、クボ田ファーム(株)250万円/250株

(2) 特定資産 基本財産取得準備預金 1,100万円